

# R 2 年度 教材教具・指導事例集 目次

## 4 身体づくりの教材・自助具

4-21	年賀状を書こう	S 部門	高等部
4-22	サッカーすごろく	S 部門	高等部
4-23	花火スタンプ	S 部門在宅訪問	高等部
4-24	ローングローラー	S 部門	高等部
4-25	なんでもスイッチ オン!	S 部門	高等部
4-26	寝返り指導を行うための工夫	S 部門	自立活動部
4-27	タンカブランコ	S 部門	自立活動部
4-28	ぺらぺらめくるくん	S 部門	高等部

# 年賀状を書こう ～いろいろな道具を使って～

**年賀状の表と裏**



**・ 添え書きの例**



**・ 干支について**

巳	辰	卯	寅	丑	子
					
亥	戌	酉	申	未	午
					

**・ 日付の書き方**



**・ あて名書き**



**・ 賀詞 (祝いの言葉)**

- 賀正
- 賀春
- 頌春
- 慶春
- 迎春
- 寿春
- 賀新春
- 謹賀新年
- 恭賀新年
- 敬頌新喜
- あけましておめでと
- うございます
- 新年の喜びを申し上げ
- ます
- など

**対象となる児童・生徒**

**S 部門 高 等 部**  
( D学習グループ )  
知的障害を併せ有する 教育課程

知的障害を併せ有する、S部門の生徒に使用する教材。

**ねらい**

- ・基本的な書式を理解することで、自作の年賀状を作成する。
- ・会いたくても会えない遠く離れた家族などに新年のあいさつや近況の報告をする。

**ポイント**

- ・日本の伝統的な行事の一つである年賀状作りを体験することで、実生活につなげていく。

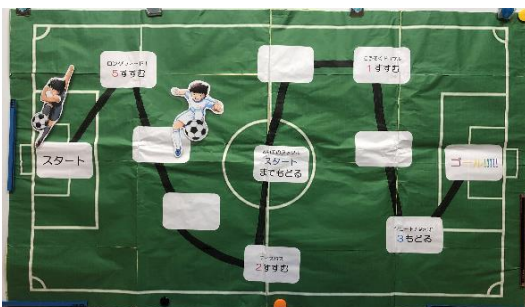
## 教材の使い方、指導の実践例など

- ・順番に沿って書いていく。
- ①年賀状の裏と表
- ↓
- ②裏に賀詞(祝いの言葉)
- ↓
- ③添え書きの例
- ↓
- ④日付の書き方
- ↓
- ⑤干支について
- ↓
- ⑥あて名書き



順番に沿って書いていったことで、生徒一人一人の年賀状をきれいに作成することができた。

## サッカーすごろく ～ボールを蹴ろう！～



### 教材の使い方、指導の実践例など

- ・保健体育の授業をイメージし作成しましたが、ホームルームのレクなどでも使えます。
- ・主な進め方
  - ① 2チームに分かれ、キャプテンと蹴る順番、先攻・後攻(コイントス)を決める。
  - ② 1人ずつ順番(先攻1人目→後攻1人目→先攻2人目→…)に蹴り、さいころの数だけマスを進める。
  - ③ ゴールまでたどり着くと、1点得点したことになる。
  - ④ チーム全員が蹴り終わり、何点得点したかで勝敗を決める。
- ・人数や時間により、蹴る回数などを変えても構いません。
- ・「足を使ってボールを蹴る」という経験を増やすことを意図しているため、手を使ったシュートはなしです。ホームルームなどで自発的に足を動かすことが難しい生徒が取り組む場合は、教員の言葉かけから一緒に足を動かして蹴るかたちで行ってください。

### 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

( D学習グループ)

知的障害を併せ有する 教育課程

・「蹴る」という動きが意識的に可能な生徒を対象にしています。

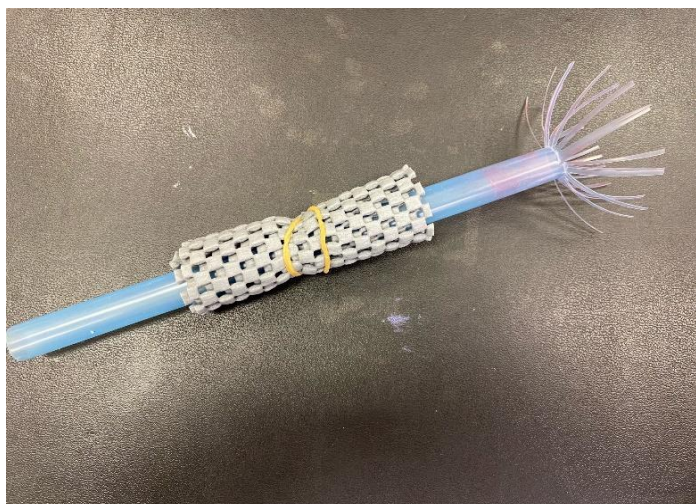
### ねらい

- ・ボールを蹴るという運動経験を通して、意識的に足を動かす。
- ・狙う場所(ゴール)を意識して、ボールを蹴る。

### ポイント

- ・実態によって距離を変えたり、台やスロープを使用したりする。
- ・ビニールのサイコロを用いて、威力の弱いボールでも転がるようにする。
- ・初めは手が出せる生徒が多かったが、次第に足が出せるようになった。

## 花火スタンプ ～簡単に花火が描ける～



### 対象となる児童・生徒

#### S 部門 高等部

(A学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

手の動きが小さいため、本人が手に力を入れた時に教員と一緒に動かすことで絵や文字を書く等の創作活動を行っている。

### ねらい

- ・自分なりの動きで手を動かし、花火を描く。

### ポイント

- ・どの力加減でどのようにスタンプをしても味わいが出るので、失敗がない。
- ・持ち運びも簡単。

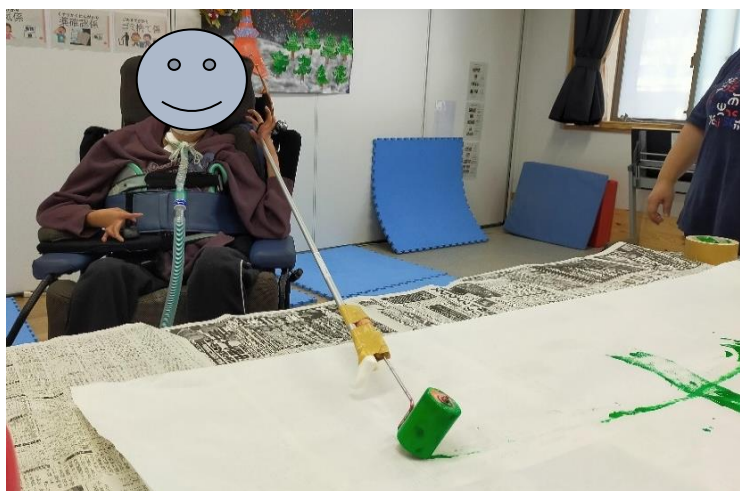
### 教材の使い方、指導の実践例など

- ① 絵の具を紙皿などに出す。
- ② ストローでこするように絵の具を広げ、ストローに絵の具をつける。
- ③ 紙にスタンプをする。(暗い色から順番にやっていると綺麗に仕上がる。)

- ・和紙にスタンプをしたものを利用して、うちわを制作した。

## ロ～ングローラー

～動きが小さくたって、ダイナミックに描けるよ～



### 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

(F学習グループ)

準ずる 教育課程

- ・上肢、手指に変形拘縮があり、指と手首、肘は動かせるが、可動範囲は狭い。
- ・握ることができない
- ・電動車いすで移動ができる

### ねらい

自分のできる方法でダイナミックな描画ができる。  
大きな紙の中央に描画がすることができる。

### ポイント

- ・電動車いすを前後に動かすことにより、広い面に、ダイナミックに描画できる。
- ・友達が手が届かず描けない場所に描画することができる。

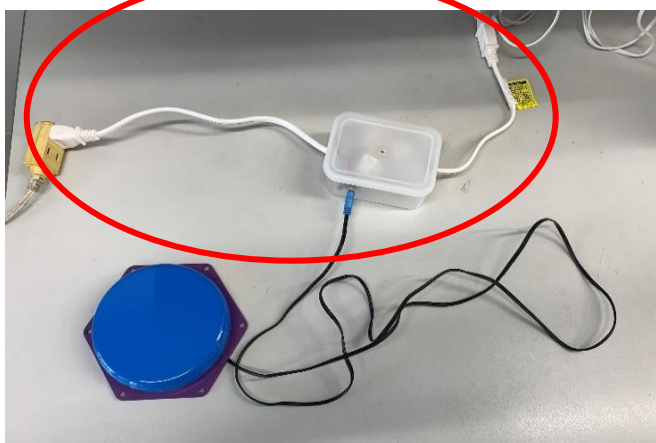
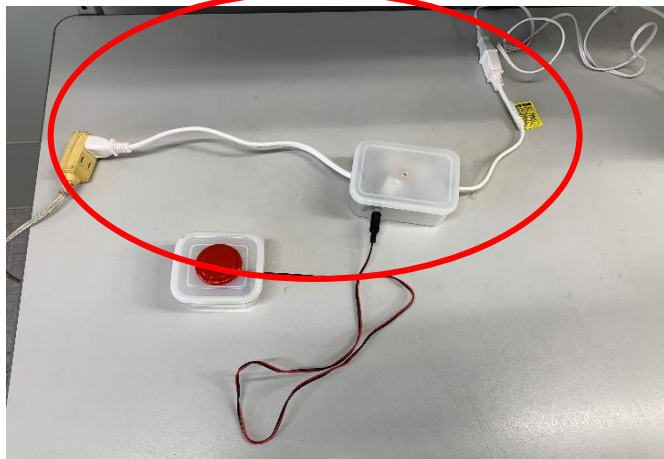
### 教材の使い方、指導の実践例など

- ・特別活動（学年HR）の時間、演劇の動画撮影に使用する小道具の制作。
- ・重いと操作しにくいので、アルミの長い棒の先にローラーをつけた。ローラーをつけることで、刷毛などより、動きがスムーズになり自由に動かすことができる。
- ・握ることができないので、ゴムで軽く固定した。（軽く固定することで左右の動きがしやすい）
- ・前後の動きは電動車いすで移動し、ローラーの向きは、電動車いすの向きや、自分で動かせる手首を動かして向きを変えた。



# なんでもスイッチ オン!

～自分に合った方法でスイッチを押す～



## 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

(B学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

- ・因果関係を作りたい生徒。
- ・目と手の協応が難しい生徒。
- ・生徒の実態に応じた活動内容ができる。

## ねらい

- ・スイッチ教材につなぐことで物が動くことの因果関係を知る。
- ・自分で活動することの達成感を得る。

## ポイント

- ・ラジカセやミキサーなどを通してスイッチ教材をセットし、押すことで機械が動くことの因果関係を作る。
- ・接続部を使うことで様々な種類のスイッチ教材を使える。

## 教材の使い方、指導の実践例など

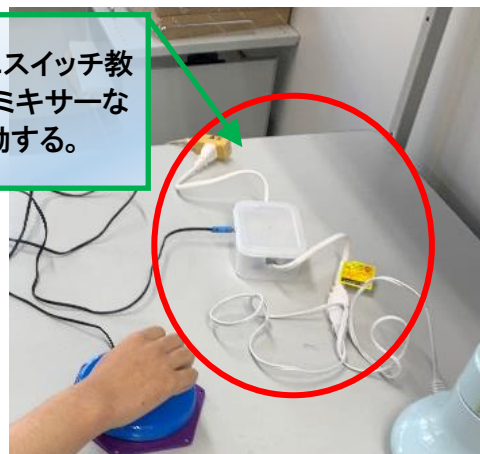
### 【指導場面】

- ・個別の時間や生活単元学習の時間など。
- ・細かい手指の操作が難しい生徒にはビックマックを使って活動を行った。

### 【効果】

・個別の時間でラジカセにつなげて行った。スイッチを押すと好きな音楽を流れるように設定し、繰り返し行うことで自分からスイッチを押すようになった。また、「押す・音が鳴る」の因果関係を理解してきたこと、さらにスイッチを「見る」力が付いてきた。これにより、物を見るが増えてきた。

この接続部にスイッチ教材・ラジカセやミキサーなどを繋げて活動する。



## ～寝返りの指導を行うための工夫 …バスタオルやタオルケットなどの活用～



複数枚の掲載可。

### 対象となる児童・生徒

S 部門 全 学部

( 学習グループ )

全ての 教育課程

特に障害が重度で、寝返りの動きを指導する際に、関節可動域の制限などのために、徒手による介助で体を動かすことに何らかの困難が伴う児童・生徒

### ねらい

児童・生徒に無理のない状態で、寝返りに伴う体の動き・姿勢の変化を感じ取ってもらう。

### ポイント

バスタオルやタオルケット、敷布など、児童・生徒の体を包むことができる程度の大きさの布状のモノは、どの教室にもある。つまり、身近にあるもので、手軽に使用することができる。

### 教材の使い方、指導の実践例など

寝返りの指導…

①寝返りは運動発達の主要な段階のひとつ

②体の動かしていく時の基本を学ぶ・身につける機会

③肩甲骨周辺などに体の重さがかかることで、柔軟性が身につく

⇒しかし、教員が徒手で指導する時に、特に障害の状態が重度で、関節可動域に大きく制限がある場合や、体が大きい（身長・体重）児童生徒の場合、体の動かされることによる不快感・不安感が生じやすかった。

⇒布などで体全体を包むようにして動かすことで、体全体に均等に圧がかかり、体全体を無理なく動かすことができ、上記①～③のねらいを達成しやすくなった。

# タンカブランコ

～どんな姿勢の子でも楽々空中浮遊～



シーツブランコの上下、左右のへりに輪を作り、棒を通せるようにして、担架のように担げるようにする。

股関節や膝関節が伸びたまま乗せるときは縦に棒を通す。横に棒を通すと、視界を広くとることができる。



## 対象となる児童・生徒

S 部門 全 学部

( 全学習グループ )

全ての 教育課程

身体の緊張が強かったり、自発的な動きが少なかったりする児童生徒。

自力での姿勢変換が難しく、体の位置の意識や平衡感覚を育てたい児童生徒。

## ねらい

・緊張がつよく、股関節や膝関節の屈曲が難しい児童生徒に対して、揺れや振動の刺激を経験させ、心身の緊張を和らげる。

・平らな布ブランコで周りの様子を意識しながら揺れを楽しむ。

## ポイント

・体が伸びきったままの姿勢でも、無理なく乗ることができる。

・バーを横に通すと布が谷折りにならず、視界が確保できたまま揺れを感じることができる。

・シーツブランコより介助が楽で安全。

## 教材の使い方、指導の実践例など

布の端を折り返して輪にして縫ってある。握りやすいように握りの位置を空けてある。



身体が伸びたままでも、楽々揺らせます。





# ぺらぺらめくるくん ～手先をうまく使えない児童・生徒に～



## 対象となる児童・生徒

S 部門 全 学部

全ての 教育課程

主体的に本のページをめくろうとする児童・生徒で、細かい動きが苦手で本をめくることが難しい児童・生徒を想定

## ねらい

自分で本のページをめくることができるようになること

## ポイント

- ・材料は全部100円ショップで購入可能です。
- ・何に取り付けるかを工夫すれば、子どもの実態に合わせてもっと身近にある物にも取り付けて応用可能です。

## 教材の使い方、指導の実践例など

- ・教科書のページをめくるときに最適。
- ・雑誌やパンフレットでも可能。
- ・絵本など厚い紙はめくれません。
- ・やわらかい物にすべり止めを貼るのがポイントですよ。



シリコンスプーン

